

# 地域・学校・家庭の連携・協働 ～市橋子育てプログラムとPDCAサイクルを活用した活動改善の取組～



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
岐阜市立 市橋小学校	市橋小学校学校運営協議会 平成24年4月1日 指定	地域学校協働活動推進員 1名 1名 地域コーディネーター 0名 0名	市橋小学校 支援推進委員会



## 取組の背景及び目標や目指す姿

### 背景

本校では、平成24年度から、児童・保護者・地域住民が一堂に会して「コムスク市橋」と呼ばれる「市橋子育てプログラム」活動発表会や地域体験活動を実施、校区全体の一体感を高めていた。しかしながら、新型コロナウイルス感染予防のため、不特定多数が学校施設等に集まることが難しくなり、児童の地域に根差した豊かな体験活動の場や、児童の姿を見ていただいた保護者・地域の声を集約して活動改善につなげる場を確保することが難しくなった。

### 目標や目指す姿(学校)

かがやき 生きぬく子  
(かながえる子、がんばる子、やさしい子、きょうりよくなる子)

### 目標や目指す姿(地域)

郷土市橋を愛する心を育てる



## 市橋小学校学校運営協議会 の特徴

### 委員の立場や属性等

- |                                       |                                    |
|---------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 自治会連合会 会長    | <input type="checkbox"/> 交通安全協会 会長 |
| <input type="checkbox"/> 公民館 館長       | <input type="checkbox"/> 保育所 所長    |
| <input type="checkbox"/> 老人クラブ連合会 会長  | <input type="checkbox"/> PTA会長     |
| <input type="checkbox"/> 民生委員協議会 会長   | など、計 <b>12</b> 名で構成                |
| <input type="checkbox"/> 青少年育成市民会議 会長 | 年間平均 <b>5</b> 回程度開催                |

### 効果的な運営の工夫

学校運営協議会は、自治会連合会長など地域・学校・家庭の関連諸団体の代表で組織し、活動方針を協議、活動計画を承認するとともに進捗管理、効果の検討を行っている。

支援推進委員会は、学校支援部会に土地改良区理事長等8名、安心安全部会に交番長等8名、地域活動部会に町づくり協議会副会長等8名、3部会計24名で組織している。活動計画や予算を作成し、学校運営協議会の承認を得た後、支援推進コーディネーター(地域学校協働活動推進員)による助言や支援を得ながら活動を実施している。



## 特徴的な取組と成果・効果

### 学校運営協議会

活動の有効性を高めるため、令和3年11月に保護者に対して「市橋子育てプログラム」12項目を各4点満点で評価するオンラインアンケートを実施した。記述式の回答も含め、結果を関係諸団体代表が集う学校運営協議会で協議し、次年度の方向性を協議、活動方針や重点を検討している。



学校運営協議会のような

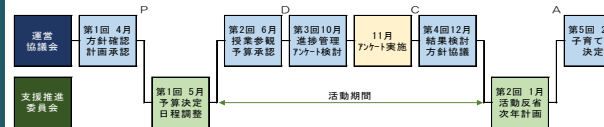
### 地域学校協働活動

地域に根差した豊かな体験活動を進めるために、自発的に作られた団体も所属する。学校支援部会は休日の親子ふれあいの場、安心安全部会は交通安全や地域防災、地域活動部会は地域行事やイベントを担当し、それぞれ土曜授業等を活用して体験活動の場を提供した。



市橋音頭発表会のような

### 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等



### PDCAサイクルによる活動改善

学校運営協議会を方針や重点の決定、保護者アンケートを基に活動の効果について協議・検討する機関としている。それを受けて支援推進委員会(地域学校協働本部)が活動を仕組んでいけるよう年間スケジュールを改めた。

## 取組

## 成果・効果

かがえる子	3.24	がんばる子	3.20
地域(講師)	3.33	地域(少年団)	2.93
学校(授業)	3.35	学校(特活)	3.55
家庭(宿題)	3.03	家庭(ルール)	3.08
やさしい子	3.48	きょうりよくなる子	2.86
地域(見守り)	3.56	地域(行事)	2.97
学校(仲間)	3.47	学校(総合)	3.01
家庭(ハグ)	3.40	家庭(参加)	2.97

※各項目4点満点(令和3年11月実施)

課題: ふれあいの機会が減少し、一体感がやや弱くなってきている。

策1: 感染予防を万全にして地域行事を実施し、一体感が高まった。  
○地域活動部会に「市橋の未来を考える会」を立ち上げた。  
・3年越しの「NHK巡回ラジオ体操」を開催(参加者約1,000名)  
・市橋小運動場を利用した「市橋夏祭り」を開催(参加者約1,800名)

策2: 総合的な学習の時間と地域行事を連携させ、一体感が高まった。  
○支援推進委員会で、地域行事との日程調整を行った。  
・第5学年「防災」の活動として、土曜授業で「市橋防災訓練」に参加。  
・第3学年「地域」の活動として、土曜授業で「健幸ウォーク」に参加。

- ◆学校運営協議会が、アンケートを基にPDCAサイクルを生かし、課題解決に向けて具体的な手立てを講じることができた。
- ◆支援推進コーディネーターが、総合的な学習の時間と地域行事の連携に適切な助言を行い、効果をより高めることができた。
- ◆支援推進委員会が、運営協議会の方針を受けて具体的な活動を仕組み、地域の一体感を高めていくことができた。